

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

## 横浜市金沢八景保育園

横浜市金沢区柳町 1 番地 3

運営主体：社会福祉法人 しののめ会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
分類別評価結果	6～17 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	18～25 ページ
利用者本人調査分析	26～27 ページ
事業者コメント	28 ページ

公表日：2010年3月9日

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	横浜市金沢八景保育園（保育所）		
事業所への 報告書提出日	2010年2月8日	評価に要した期間	6ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

### 評価方法

1、自己評価 実施期間 2009年8月上旬～10月末	<p>はじめに、平成19年11月、12月、20年1月の計3回「評価領域サービスの実施内容」の各項目について、4つに分かれてグループワークを行った。（1、2回目はクラス・部門別で分かれて実施、3回目はクラス単位で実施。偏らずに広い視点で話し合えるよう、意図的にグループを再編成して実施した。）</p> <p>平成21年6月の職員会議で、あらためて第三者評価について説明し、各職員が「自分はどうか？」を中心に振り返り、原則、自己評価票の全項目を記入した。</p> <p>各職員から提出された自己評価票をもとに、担当者（施設長・主任・人材育成担当者）が全判断基準について集計表を作り、園として1つにまとめ、仮評価を作成した。</p> <p>その集計表を各職員に戻し、各自、自分と他の職員たちとの評価の相違を知ってもらった。</p> <p>その後、クラス・部門で話し合い、リーダーがまとめ、担当者との会議で園全体としてまとめた。</p>
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2009年9月28日～10月18日	<p>全園児の保護者（60家族）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
3、訪問実地調査 実施日：第1日 2009年12月16日 第2日 12月17日	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査。園長・主任に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士3名、看護師1名、栄養士1名、非常勤職員1名、主任に個別に面接調査。 その後、園長・主任に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
4、利用者本人調査 実施日：第1日 2009年12月16日 第2日 12月17日	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

横浜市金沢八景保育園は、京浜急行線「金沢八景」駅下車、平潟湾沿いに海の方に歩いて10分、八景公園の西側隣にあり、周囲は住宅街で、落ち着いた静かな環境の中に位置しています。

当園は公設民営の保育園として2002年（平成14年）4月に開設されました。運営主体は社会福祉法人しのめ会で、金沢区に当園を含む保育園4園と、障害福祉サービス事業所3ヶ所を運営しています。

定員は0～5歳児で60名、保育時間は平日は7時～21時、土曜日は7時～16時30分です。

1966年（昭和41年）に結婚式場として建てられた3階建て建物の1・2階部分が園舎で、同じ建物の3階は柳町コミュニティハウスとなっています。園庭には大きな楠木があり、夏には心地よい日陰を作っています。また園庭の菜園では、子どもたちが種をまき水遣りをして、植物を育てています。

基本理念・方針・目標は、以下のように定めています。

- ・基本理念：安全・安心　そして信頼をモットーに　地域社会との共生をめざします
- ・基本方針：人との関わり、支え合いを大切にし、お互いに認めあい助け合う関係を育て人間関係の基礎を養う  
四季を充分に感じ、自然を愛しみ、心身を鍛え、物事に感動し、美しい心を育てる
- ・保育目標：誰からも愛される子　誰をも愛せる子　心身共にたくましい子

### 高く評価できる点

#### 1、子どもたちは良く練られた環境構成の中で生き生きと遊びこんでいます

各保育室には、ままごと・絵本・人形・積み木・ブロック・電車ごっこ・お絵かき・製作・粘土等のコーナーが子どもの成長発達に合わせて設定されています。また、コーナーは季節や子どもの発達、興味に合わせ適宜変更したり追加したりしています。

登園した子どもたちは、支度が済むとすぐに好きなコーナーへ直行し、夢中になって遊びこんでいます。乳児クラスでは各コーナーに保育士がいて子どもたちの遊びを支援しています。遊びが滞るような場合には保育士と一緒に遊びに入り、遊び方を指導すると再び遊びが活発になっていく場面が見られました。

幼児クラスの保育室内は、子どもたちが見通しをもって生活ができるように設定されていて、その工夫の一つが数字カードです。目覚まし時計のそばに数字カードが立ててあり、その数字の所に時計の針がきたら片付けをする約束になっているので、自分で確認しながら遊びを調整できるようになっています。また、子どもの背丈に合わせた棚におもちゃ類をしまいますが、棚やかごにおもちゃの写真が貼ってありスムーズに片付けができています。また、給食中は、おかわりができる時間とごちそうさまをする時間を、壁時計のそばに数字で示していますので、保育士が何度も子どもたちに時間を知らせるということはありませんでした。子どもたちは数字を見ながら、自主的に行動しています。子どもたちは自分で生活の流れをつかみ、次の行動に移ることができる環境設定の下、元気よく遊びこんでいます。

#### 2、職員は一人ひとりの子どもを良く理解し、連携して、保育にあたっています

職員は、職員会議、カリキュラム会議、リーダー会議、ケース会議、給食会議、クラス会議において、一人ひとりの子どもたちについて話し合い、検討しあっていますので、共通認識を持って保育に携わることが可能になっています。また、月案・週案は、保育計画に基づいて全職員が関わって大変丁寧に作

成しています。さらに、乳児・幼児ともに全園児一人ひとりの様子を個人別記録表に記入し、職員間で共有しています。個人別記録表には、月の目標、月の配慮、月の子どもの姿等を記載しています。このように全職員が関わって月案・週案・子どもの個人別記録表を大変丁寧に作成していますので、職員は一人ひとりの子どものことを良く理解した上で連携して保育に携わることができています。

### 3、職員は自己研鑽に励んでいます

法人として園内研修、園外研修、法人研修ともに力を入れています。特に、人権研修に力を入れ、日頃から職員に指導しています。毎年2回行われる法人研修はテーマを決めて職員の意識向上を図っています。園内研修では、クラス運営について検討したり、異年齢児保育について話し合ったり、新人研修としてOJTを取り入れたりしています。園外研修では、障がいに関する研修や遊びについての研修、幼児食の研修等、多数受講しています。

職員一人ひとりについての個人研修計画書があり、自己課題・目標・今年度の研修ニーズ・自己評価・研修の成果および反省、等の項目を分かりやすく1枚にまとめてあります。これに基づいて自分が受けた研修を申し出たり、あるいは主任から勧められた研修を受講し、受講後は研修報告書を提出し、きちんとファイリングをして、振り返りにも役立てています。

### 独自に取り組んでいる点

#### 1、宿泊保育に力を入れています

5歳児は、年3回宿泊保育を体験しています。5月には当園で行い、6月には姉妹園で姉妹園の子どもたちと一緒に、7月にはまた当園で行っています。

初めてのお泊りでは緊張した子どもたちも、回を重ね、次第に活発に取り組むことができるようになりました。姉妹園との合同宿泊保育では、パン作りや紙すき、陶芸等の楽しい思い出をたくさん作りました。子どもたちは3回の宿泊保育の中で多くのことを学び、自分の行動に自信を持てるように成長しています。

### 改善や工夫が望まれる点

#### 1、防犯への取り組みにさらなる工夫を

利用者アンケートによりますと、外部からの不審者侵入についての不安を述べる声があがっています。3階のコミュニティハウスを利用する人の通路と保育園の玄関が接していることや、コミュニティハウスにつながる外階段・内階段の安全性に、不安感を抱いている保護者もいるようです。園の防犯対策についての取り組みについて、保護者へより分かりやすく情報提供していく工夫も、合わせて検討が望まれます。

#### 2、記録の取り方について検討を

相談・苦情・ケガについての報告が、現在はクラス伝達ノートにひとまとめに記録されています。クラスの伝達ノートとしては、職員間で分かりやすく、役立っています。しかし個々の情報を決められた様式に記載することで職員の意識の向上につながり、さらにそれらの記録からケガや事故が、いつ・どのような状態のときに起こっているのか一目で分かる統計を取ることが可能になり、再発防止にも役立ちます。

記録は、様式を決めて、それぞれに記入・ファイリングし、いつでも必要な場合には取り出して確認できるよう、記録の取り方の検討が望まれます。

### 1、人権の尊重

- ・基本理念は「安全・安心 そして信頼をモットーに 地域社会との共生をめざします」です。  
基本方針は「人との関わり、支え合いを大切にし、お互いに認め合い助け合う関係を育て、人間関係の基礎を養う」「四季を充分に感じ、自然を愛しみ、心身を鍛え、物事に感動し、美しい心を育てる」です。  
保育目標は「誰からも愛される子」「誰をも愛せる子」「心身ともにたくましい子」です。  
基本理念、基本方針、保育目標は、いずれも利用者本人を尊重したものとなっています。
- ・法人の「保育所職員心得及び禁止事項」で、言葉遣いや叱り方等について定めています。また、「守秘義務の意義について」「個人情報保護に関する規程」を定め、これらは法人研修や職員会議で具体例を挙げて繰り返し周知しています。
- ・「保健マニュアル」の中に「児童虐待等への対応と精神保健」という項目を設け、法人の人権研修や職員会議で職員に周知しています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・ままごと、絵本、人形、積み木、粘土、パズル、ブロックなど、子どもの発達や遊び方に合わせてコーナーを設定しています。コーナーには子どもの目の高さに合わせておもちゃが並べられ、子どもが自由に選んで遊ぶことができます。
- ・棚やカゴにおもちゃの写真が貼られており、子どもが自分で片付けられるように工夫しています。
- ・遊ぶ、食べる、寝る、という目的に合わせて、コーナーや園芸用のラティス等を用いて保育室を仕切り、生活の流れを作るよう環境構成を工夫しています。
- ・2歳児以上は時計を保育室に置き、数字を提示することにより、子どもが見通しを持って自発的に次の活動に移れるようにしています。
- ・5歳児は3回の宿泊保育を通じ、集団生活のルールを学ぶとともに、自信をつけています。
- ・晴れている日は毎日、園庭に出たり、隣の八景公園のほか、たくさんの公園や散歩に出かけています。散歩マップを作成し、子どもの運動能力を高めるために発達段階に合わせた散歩コースを工夫しています。
- ・年間食育計画を作成し、クッキング保育を行っています。また、玄関ホールの給食サンプルの棚の下に、翌日用いる食材を展示し、子どもの食べものに対する関心を引き出しています。
- ・一人ひとりの排泄時間の様子を見て、間隔があいてきたらチェックリストに付け、保護者とトイレトレーニングの時期を相談しながら取り組んでいます。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・保育課程の作成には全職員が参加し、異職種でグループを作り、経験年数の長い職員が新人職員に助言をしたり、互いに勉強しあったりしながら1年間かけて丁寧に行いました。
- ・保育課程は、保育の基本方針や地域の実態や周囲の環境を考慮し、さらに保護者の就労状況にも配慮して作成しています。指導計画は保育課程に基づき、年齢ごとに作成しています。保育課程と指導計画には、統合保育や異年齢児保育の目標も設定して、取り組んでいます。
- ・入園前に保護者に面接をし、子どもの様子についても観察しています。また、入園前の面接時や、入園式の折に、児童票等の提出をしてもらい、職員は生育歴や家庭での状況などを把握しています。情報は職員間で共有し、日々の保育に活かしています。
- ・個別指導計画（個人別記録表）は、0、1歳児のみでなく5歳児まで全園児について作成しています。
- ・特別な課題がある子どもについては、個別指導計画（保育経過記録）と個別台帳を作成し、随時、経過観察を記録し、ファイリングしています。
- ・個別の目標や計画については、子どもの発達状況に合わせて柔軟に変更・見直しを図っています。
- ・園に対する意見箱と、給食用の意見箱を設置して、保護者からの要望・苦情を受け付けています。要望・苦情の解決責任者は理事長、受付担当者は施設長となっています。
- ・要望や苦情の受け付け方法は、園のしおりの中に記載があります。また、第三者委員を交えて話し合う体制もあります。
- ・保健マニュアル、感染症対策マニュアル、衛生管理マニュアル、事故防止マニュアル、事故・怪我発生時の

対応マニュアル、大地震発生時におけるマニュアルなど各種マニュアルを整備しています。

- ・病院に受診した場合は必ず事故報告書に記載していますが、ヒヤリハット報告書については記載の基準があまりであるため、今後の検討が望まれます。
- ・法人の看護師会議、栄養士会議で衛生管理マニュアルを見直し、改定を行い、看護師が職員会議で園内研修を行っています。

#### 4、地域との交流・連携

- ・六浦地区社会福祉協議会主催の、瀬戸町内会館で毎月開催される子育て支援事業「ハイハイくらぶ」に協力参加しています。また、相談事業を通して地域からの園に対する要望・子育てニーズを把握しています。把握した要望から、離乳食の講座やプール開放を実施しました。
- ・子育て支援サービスとして一時保育、交流保育、園庭開放、プール開放を行っています。また、乳児親子ブラッシング教室、離乳食講習会、「親子でつくろう」（親子の工作教室）を開催しました。
- ・園庭開放や園見学、公園などでも相談に応じていますが、園としての定期的な相談日を設けてはいません。今後はいつでも相談を受ける旨を掲示板に明記するなどの工夫が望まれます。
- ・医療関係や障がい相談、虐待相談、福祉教育、地域自治会、防災防犯など、目的にあわせて関係機関・団体等のリストを作成していて、必要なときにはすぐに連絡・連携・対応できる体制になっています。
- ・近くの高校や大学等の文化祭に園児と出かけて学生との交流を行うとともに、文化祭の地域紹介コーナーに園児の作品を展示して学校との連携を深めています。
- ・金沢図書館、瀬戸神社、消防署、横浜こども科学館等を園外活動時に利用して、地域の生活文化の理解を深めています。
- ・食材を購入している近隣商店などに、散歩や買い物の園外活動時に立ち寄り、地域と交流を深めています。
- ・近隣町内の高齢者施設を訪問し、利用者と親睦を深めています。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・理念・基本方針を明文化し、園のしおりに掲載して職員に配布しています。また、職員会議等で説明し、職員に周知しています。
- ・施設長は、重要事項の変更や決定については保護者と話し合う機会を設け、理事長とも協議の上、方針を決定しています。方針決定にあたっては、文書での説明、懇談会での説明を実施しています。
- ・施設長や主任は、月案や保育活動が理念に基づいて計画・実施されているか常に確認しています。
- ・法人は、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。
- ・運営面での重要な改善課題については、法人の幹部会議・主任会議・看護師会議・栄養士会議で検討し、さらに法人研修で周知するなど、園全体で取り組んでいます。
- ・法人は、中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成しています。また、次代の組織運営に備えた運営やサービスプロセスの新たなしくみ作りについても検討を始めています。

#### 6、職員の資質向上の促進

- ・人材育成担当理事と、人材育成担当保育士を配置しています。
- ・人材育成の計画としては、横浜市の公立保育所用保育士人材育成ビジョンの資料を職員に配布し、共有しています。
- ・職員は、毎年個人研修計画書を提出しています。個人研修計画書には、自己課題や目標、今年度の研修ニーズ、達成できたかどうかの自己評価、反省等の項目があり、活用されています。本人が自己評価して研修報告書に記載したものをもとに、主任が次期研修計画の見直しを図っています。
- ・園内研修の一環としてOJTを取り入れ、新人保育士がベテラン保育士に指導を受けるしくみを実践しています。
- ・法人研修が年2回、定期的実施され、非常勤職員にも参加を呼びかけています。
- ・職員は、職員会議やクラス会議でサービスの見直しを図り、また、法人内の保育園間で交流し、互いに良いところを吸収しあい、一層のサービス向上を目指しています。
- ・次世代育成は保育園の役目と考え、実習生や、体験学習の中・高校生を積極的に受け入れています。また、終了後は反省会を行い、意見や感想を参考にしています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。




「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と 保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本理念、基本方針、保育目標は以下のとおり定めてあり、いずれも利用者本人を尊重したものとなっています。 基本理念：安全・安心そして信頼をモットーに 地域社会との共生をめざします 基本方針：人との関わり、支え合いを大切にし、 お互いに認め合い助け合う関係を育て、人間関係の基礎を養う 四季を充分に感じ、自然を愛しみ、心身を鍛え、物事に感動し、美しい心を育てる 保育目標：誰からも愛される子 誰をも愛せる子 心身ともにたくましい子</li> <li>・ 保育士は、採用時に基本方針等の説明を受け、理解しています。年度末には理念・基本方針等を記載したしおりを全職員に配布し、職員会議等で周知しています。</li> <li>・ 保育士は、年案・月案・週案等の作成において、基本方針を理解した上で行っています。</li> <li>・ 保育課程の作成には全職員が参加し、異職種でグループを作り、経験年数の長い職員が新人職員に助言をしたり、互いに勉強しあったりしながら1年間かけて丁寧に行いました。</li> <li>・ 保育課程は、保育の基本方針や地域の実態や周囲の環境を考慮し、さらに保護者の就労状況にも配慮して作成しています。指導計画は、保育課程に基づき、年齢ごとに作成しています。</li> <li>・ 保育士は、言葉で理解できる子どもには、必要なことを丁寧にゆっくり説明しています。</li> <li>・ 子どもの意見や意思を見直しに活かし、柔軟性を持たせた指導計画となっています。</li> </ul>

- 2

## 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ・入園前に「入園のしおり」などの必要書類を保護者に送付し、あらかじめ保護者が園の保育について考えることができるようにしています。
- ・入園前の面接時や入園式の折に、児童票等の提出をしてもらい、職員は生育歴や家庭での状況などを把握しています。また、面接時に把握した情報は職員間で共有し、日々の保育に活かしています。
- ・慣らし保育については、保護者へ十分に説明して実施しています。また、子どもの心理的よりどころとなるぬいぐるみ等の持ち込みを認めています。
- ・0・1歳児の新入園児については、子どもと相性の合う保育士が主に担当し、子どもが園生活に慣れてきた段階でクラスの保育士全員で見られるようにしています。
- ・0～2歳児クラスは、毎日連絡ノートを記入して保護者と情報を密にやりとりしています。幼児クラスもほぼ毎日、連絡ノートでやりとりしています。
- ・保育士は、子どもの発達や状況についてクラス会議で日々話し合っており、指導計画等の評価や見直しも行っていきます。
- ・指導計画の評価・改訂にあたっては、複数の職員が参画して作成しています。また、連絡ノートや面談を通して保護者と話し合ったことを反映させています。




- 3

## 快適な施設環境の確保




- ・保育園の屋内・外は、細やかに清掃され、清潔に保たれています。また、室内は明るく陽光が十分に取り入れられています。季節ごとに玄関や廊下に装飾を行い、机やイス・収納棚などには木製の家具を多く使い、観葉植物を置くなどして、落ち着く雰囲気の世界構成を心がけています。
- ・子どもたちが戸外へ出た後だけでなく、日常的に保育室内の窓を開閉して換気をこまめに行っています。
- ・温・湿度計を保育室内に置き、冬季には加湿器を設置して、湿度の管理を行っています。
- ・保育士は、静かで優しく穏やかな話し方をしています。電子オルガンの音等も騒音にはなっていません。
- ・0・1歳児の保育室内には沐浴設備があり、温水シャワーが付いています。また、沐浴・温水シャワーの設備の管理や清掃は、十分に行われています。
- ・乳児の保育室は、小集団保育が行われるよう室内を仕切ったり、コーナーを作ったりして、安心して過ごせるような工夫をしています。
- ・保育士は、遊ぶ・食べる・寝るなどの生活の場面ごとにスペースを分けて、保育室の機能的な使い方を工夫しています。



<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導計画（個人別記録表）は、0、1歳児のみでなく全園児について作成しています。個人別記録表には、月の目標、月の配慮、月の子どもの姿等の項目があり、クラスの全職員で振り返り・共有しながら丁寧に記載しています。</li> <li>・特別な課題のある子どもについては、個別指導計画（保育経過記録）と個別台帳を作成して、随時、経過観察を記録しファイリングしています。</li> <li>・子どもについての記録等は、必要があれば職員は誰でも見ることができ、共有しています。</li> <li>・個別の目標や計画については、子どもの発達状況に合わせて柔軟に変更・見直しを図っています。</li> <li>・重要な申し送り事項は、個別ファイルにファイリングし、進級時に新しい担任に渡しています。また、新年度への準備期間中に新担任に、きちんと引き継ぎをしています。</li> </ul>
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。</li> <li>・保育課程や年間保育計画の中で、保育目標の次に、「統合保育のねらい」「異年齢児保育のねらい」を掲げ、子どもたちの成長発達に応じて取り組む体制をとっています。</li> <li>・個別のケースについては、ケース会議やクラス会議で話し合っています。</li> <li>・障がいのある子どもについての個別指導計画を立て、毎日それぞれの子どもについての記録を丁寧に取っています。</li> <li>・職員は障がい児保育についての研修を受け、職員会議やケース会議等で報告しています。</li> <li>・園として統合保育に力を入れていて、保育士が手本となって接し方を示しています。</li> <li>・アレルギーについては、保護者にかかりつけ医の指示書を提出してもらい、その指示に沿って適切に対応しています。</li> <li>・看護師は、職員会議等で食物等アレルギーについての説明をし、職員に周知しています。また職員は給食会議に交替で参加してアレルギーについて学んでいます。</li> <li>・代替食・除去食を提供し、他の子どもたちの給食と見た目の相違がないように配慮して取り組んでいます。</li> <li>・日本語による意思疎通が困難な保護者には、連絡帳の記載をローマ字で行ったり、通訳ができる人を頼んだりして対応しています。また、重要な事柄は口頭で説明したり、事務所でゆっくり話したりして、理解できるように配慮しています。</li> </ul>
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員が2名決められていて、入園のしおりにも掲載しています。</li> <li>・園に対する意見箱と、給食用の意見箱を設置して、保護者からの要望・苦情を受け付けています。要望・苦情の解決責任者は理事長、受付担当者は施設長です。</li> <li>・要望や苦情の受付方法は、入園のしおりの中に記載して保護者に説明しています。また、第三者委員を交えて話し合う体制もあります。</li> </ul>

## 評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="118 344 344 427">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="592 259 1481 517">・ままごと・パズル・ブロック・絵本・電車ごっこなど、子どもの発達や遊び方に合わせてたくさんのコーナーを設定しています。コーナーには子どもの目の高さに合わせておもちゃが並べられ、子どもが自由に選んで遊びこんでいる姿を見ることができます。また、棚やカゴにはおもちゃの写真が貼られ、子どもが自分で片づけられるように工夫しています。</li> <li data-bbox="592 528 1481 741">・製作などの一斉活動においては、子どもの遊びを中断するのではなく、保育士が一人ひとりのタイミングを見計らって何回か声をかけるなどして、子どもが自分から次の活動に移れるよう自然に子どもを誘っています。また、なるべく複数の遊びや活動を用意し、子どもが自分で選べるように設定しています。</li> <li data-bbox="592 752 1481 965">・遊ぶ、食べる、寝る、という目的に合わせて、コーナーや園芸用のラティスを用いて保育室を仕切り、生活の流れを作るよう環境構成を工夫しています。また、2歳児以上のクラスでは、次の活動に移る時間をあらかじめ分かるよう時計に表示し、子どもが見通しを持って自発的に次の活動に移れるようにしています。</li> <li data-bbox="592 976 1481 1055">・5歳児は年3回の宿泊保育を通じ、集団生活のルールを学ぶとともに、自分でできたという経験に、自信をつけています。</li> <li data-bbox="592 1066 1481 1234">・新しい遊びを提供する時は、保育士自身がモデルとなり遊びの中に入って積極的に関わる、子どもたち同士で遊びが成立している時はそばで見守るなど、保育士は子どもの様子を良く観察し、必要な支援をしています。</li> <li data-bbox="592 1245 1481 1458">・晴れている日は毎日、園庭に隣接する八景公園で遊んだり、散歩に出かけたりしています。散歩マップを作成し、子どもの運動能力を高めるために子どもの発達段階に合わせた多様な散歩コースを用意しています。散歩コースは海や公園、神社や商店、大学など、自然や地域に触れることができるものになっています。</li> <li data-bbox="592 1469 1481 1592">・幼児の保育室には、のり、ハサミなどの道具や空き箱、ペットボトルなどの廃材を並べた製作コーナーを設けてあり、自由遊びのときには子どもたちは思い思いの作品を自由に作っています。</li> <li data-bbox="592 1603 1481 1727">・子どもの作品をコーナーの棚や、保育室、廊下、階段の壁にあるギャラリーコーナー等に展示しています。ギャラリーコーナーには、立体的な作品でも写真に撮って、額に入れて展示することができます。</li> <li data-bbox="592 1738 1481 1906">・年間保育計画に異年齢児保育を位置づけ、0歳児と1歳児の低月齢クラス、1歳児と2歳児の低月齢クラス、3・4・5歳児クラス、と3つの異年齢クラスで活動しています。年齢ごとの活動も計画的に取り入れています。</li> </ul>

- 1 保育内容[生活]



- ・離乳食を食べさせるときは、子どもが自分から食べようとする意欲を大切にしながら、「おいしいね」「もぐもぐ」「上手」などと声をかけ、ゆっくりと子どものペースに合わせて食べさせています。
- ・テーブルに花を飾ったり、ランチョンマットや、配膳台にもテーブルクロスを用いて食事の雰囲気づくりをしています。
- ・保育士と栄養士が連携して年間食育計画を作成し、クッキング保育等を行っています。食育の中で、0・1歳児クラスではキャベツちぎり、1・2歳児は野菜の型抜きや納豆和え、3・4・5歳児は箸の使い方の練習など、年齢や発達に合わせた食育を行っています。
- ・食材は原則、国産のものを用い、近くの商店や南部市場から仕入れています。
- ・栄養士は、毎月の給食会議・職員会議で保育士と話し合い、盛り付けや調理方法を工夫しています。また、栄養士はクラスを回ったり、子どもたちと一緒に食事をして、子どもたちの食事の様子を見るとともに、給食日誌に残食を記録し、献立・調理の工夫に反映しています。保護者から人気メニューのレシピを聞かれて答えたり、相談にも随時対応しています。
- ・毎月の献立表と食事だよりを作成し、保護者に配布しています。献立表には、きいろのグループ、あかのグループ、みどりのグループに分けてメニューと食材を掲載し、栄養素について一目でわかるよう工夫しています。
- ・玄関ホールに幼児食サンプルの棚があり、保護者はその日の給食を見ることができます。乳児については、0・1歳児クラスの前にサンプル棚があります。
- ・玄関ホールのサンプル棚のところには、給食に関する意見箱も置いてあります。また、棚の下に、翌日用いる食材を展示し、子どもの関心を引き出しています。
- ・0・1歳児の保育室に、離乳食の食品進行表を大きな写真とともにわかりやすく掲示し、情報提供しています。
- ・乳幼児突然死症候群（SIDS）対策として10分おきに呼吸をチェックし、チェック表に付けています。
- ・トイレトレーニングは、一人ひとりの排泄時間の様子を見て、間隔があいてきたら、保護者と相談して取り組んでいます。

- 2 健康管理・衛生管理・  
安全管理 [健康管理]



- ・法人の「保健マニュアル」があり、それに基づき、看護師が毎日各クラスを回って子どもの健康状況を把握しています。一人ひとりの既往症、アレルギー、予防接種、医薬品の確認などについては保護者から情報を得て園児健康台帳にファイルするとともに、職員に周知しています。
- ・歯磨き指導計画を0歳児から作成し、歯磨き指導を行っています。幼児は歯科衛生士によるブラッシング指導を、乳児は親子で歯科衛生士による指導を受ける「乳児親子ブラッシング教室」を行いました。また、保育士は法人研修「お口のはたらきと全身の健康」を受講し、歯磨き指導について学習しました。
- ・一人ひとりの健康診断・歯科健診の結果を「内科健診表」「歯科健康診断表」に記録しています。内科健診の前に「健康だより」で保護者に医師への相談事項があるか事前に聞いています。問題があった場合や相談への回答は、口頭で保護者に伝え、歯科健診の結果は書面で保護者に伝えています。
- ・「保健マニュアル」の中に、「疾病等の予防と対応について」「感染症対策マニュアル」があります。マニュアルには登園停止基準や感染症への対応が明記してあります。また、保護者に対しては「入園のしおり」で周知しています。
- ・感染症に関する最新情報は、職員会議で看護師が職員に周知しています。また、保護者にも適宜掲示等で知らせています。保育中に発症した場合は、看護師が確認し別室で見るとともに、保護者への連絡を速やかにし、対応について相談しています。

- 2 健康管理・衛生管理・  
安全管理 [衛生管理]



- ・「衛生管理マニュアル」があり、環境設定、清掃と消毒、おむつ交換などについて定めています。
- ・マニュアルに基づき清掃等が行われ、清潔・適切な状態が保たれています。
- ・法人の看護師会議、栄養士会議で定期的に衛生管理マニュアルを見直し、改定を行っています。見直した内容については、看護師が職員会議で研修を行い、職員に周知しています。

## - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]




- ・「事故防止マニュアル」「事故・怪我発生時の対応マニュアル」「大地震発生時におけるマニュアル」を策定し、保育室やトイレなどにフローチャートを掲示し、全職員に周知しています。また、毎月、事故防止チェックリストを付けて安全管理を行っています。
- ・「地震防災応急対策本部組織図」「自衛消防隊組織図」を同じ建物の上階にある柳町コミュニティハウスと一緒に策定し、緊急時の連絡体制が確立しています。
- ・全職員が救命救急法を身につけ、毎月の職員会議の前にも、繰り返し確認しています。
- ・子どものケガについては軽傷であっても必ず保護者に口頭で説明しています。また、各クラスの職員用の伝達ノートに必ず記載し周知しています。改善策については、毎日午睡時間にクラスで話し合い検討するとともに職員会議で報告し、全職員に周知しています。また、毎月、事故統計表を作り、事故の傾向や再発防止策について検討しています。
- ・玄関は常時オートロックによって施錠しています。また、2階の出入口は暗証番号でロックしています。
- ・保護者アンケートにおいて、柳町コミュニティハウスとの複合施設であることについて、不審者侵入の面での不安の声が複数見受けられました。出入口等について再度見直し、保護者に対しても園が取り組んでいる対策等について説明するなどの工夫が望まれます。



## - 3 人権の尊重






- ・法人の「保育所職員心得及び禁止事項」で言葉遣いや叱り方などについて定め、法人研修や職員会議で繰り返し周知しています。
- ・保育士は子どもの目線で、ゆっくりと分かりやすい言葉で、静かに常に穏やかに話しています。また、子どもの言い分や話に耳を傾け、子どもを良く観察するとともに、つぶやきを拾い、活動に取り入れています。
- ・子どもに対する言葉遣いや態度については、毎日、午睡時間にクラスで話しあったり、リーダー的な職員が日常の保育の中で気付いたことがあった時は、その都度指導しています。
- ・保育室には子どもが他の友だちや保育士の視線を意識せずに過せるコーナーが設定されています。また、相談室や事務室など必要に応じてプライバシーを守れる場所を用意することができます。
- ・法人の「保育所職員心得及び禁止事項」で、守秘義務の意義について定めるとともに「個人情報保護に関する規定」を定め、法人研修や職員会議で職員に具体例を挙げて繰り返し周知しています。実習生やボランティアに対しても、資料を整えオリエンテーション時に周知しています。
- ・保護者に対しては「入園のしおり」に「個人情報の取り扱いについて（個人情報一部開示のお願い）」を掲載するとともに、入園説明会、懇談会などで説明し了解を得ています。
- ・「保健マニュアル」の中に、「児童虐待等への対応と精神保健」という項目を設け、研修・会議の場で職員に周知しています。また、虐待が明白になったような場合には、児童相談所や区役所の担当との連携

	<p>体制が出来ています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の人権研修に参加した職員が、職員会議で性差についての研修を行っています。また、午睡時のクラスの話し合いや職員会議の場で、保育中にお互い気が付いたことを話し合っています。</li> </ul>
<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対しては、基本理念、基本方針、保育目標をパンフレットや入園のしおりに明記して、入園説明会や懇談会などで繰り返し説明し、周知しています。</li> <li>・乳児は毎日、幼児は随時、連絡ノートで子どもの様子を伝えていきます。</li> <li>・保護者から希望があった時は、随時、個別面談を実施しています。しかし、保護者アンケートに個別面談を望む声が見受けられたので、いつでも個別面談に対応している旨を分かりやすく周知するなど工夫が望まれます。</li> <li>・保護者から相談を受けた職員は、必ず主任に報告しています。また、すぐに答えられないときは必要に応じてリーダー、フリー保育士、主任、施設長に相談する体制が出来ています。相談はクラスの職員用伝達ノートに記録し共有するとともに、フォローを継続的に行っています。</li> <li>・毎月の園だよりには、施設長のメッセージコーナーや、各クラスだより、食事だより、ほけんだよりを掲載し、園生活に関する情報を伝えていきます。</li> <li>・保護者会はありませんが、保護者から要請があれば、保護者グループの自主的な活動に場所等を提供したり、職員が出席したりしています。</li> </ul>

## 評価領域 地域支援機能




評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・六浦地区社会福祉協議会が主催して瀬戸町内会館で毎月開催される子育て支援事業「ハイハイくらぶ」に協力参加し、また、随時行っている相談事業を通じて、地域の園に対する要望や子育てニーズ等を把握しています。把握した情報から、離乳食の講座やプール開放を実施しました。</li> <li>・地域への子育て支援サービスとして、一時保育や交流保育、園庭開放（常時）、プール開放等を積極的に行っています。また、乳児親子ブラッシング教室、離乳食講習会、「親子でつくろう（親子の工作教室）」などを開催しています。</li> <li>・地域支援係として主任と0・1歳児のリーダーが地域支援を担当し、取り組みについて職員会議で報告をしています。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放や園見学の際、また、散歩に行った公園などでも地域の親子の相談に随時、応じています。ただし、園独自としての定期的な相談日を設けてはいません。今後は、いつでも相談を受ける旨を掲示板に明記するなどの工夫が望まれます。</li> <li>・道路に面した掲示板に、園の情報を載せるほか、「ハイハイくらぶ」や公園、柳町コミュニティハウス等にも園の行事についてのお知らせ等を配っています。</li> <li>・目的に合わせて、医療関係・障害相談・虐待相談・福祉教育・地域自治会・防災防犯関係などの関係機関・団体等のリストを作成し、必要なときにはすぐに連絡・連携・対応できる体制になっています。</li> </ul>

## 評価領域 開かれた運営




評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の実でクリスマスリース等を作る、ものづくりのイベント「親子でつくろう」は保護者の協力のもと、地域住民の多くの参加を得て、保育室を開放して毎年、園の主催行事として実施しています。</li> <li>・月1回行われる六浦地区社会福祉協議会主催の育児支援講座「ハイハイくらぶ」に保育士が講師として協力し、連携しています。</li> <li>・地域の文化・レクリエーション施設として、上階の柳町コミュニティハウスや瀬戸神社、金沢図書館、消防署、こども科学館等を園外活動時に利用して、地域の生活文化への理解を深めています。また、近隣町内の高齢者施設を訪問して、利用者との親睦を深めています。</li> <li>・食材を購入している近隣商店などに、散歩や買い物の園外活動時に立ち寄り、地域との交流を深めています。</li> <li>・近くの高校や大学の文化祭に出かけ学生との交流を行うとともに、文化祭の地域紹介コーナーに園児の作品を展示して学校との連携を深めています。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の案内パンフレットや行事の案内チラシ等を作成して、六浦地区社会福祉協議会、柳町コミュニティハウス等に情報を提供しています。また見学者には、パンフレットを渡して随時見学対応しています。</li> <li>・横浜市ホームページ「はびねすぽっと」に、「園のしおり」の情報を提供しています。</li> <li>・法人のホームページについても、平成22年度に開設予定で準備中です。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ボランティア・実習生の受け入れマニュアル」が作成されています。主任が受け入れを担当し、指導を行い、記録をしています。</li> <li>・保護者には、入園時説明会時に園の方針の中でボランティア、実習生の受け入れ主旨について説明しています。また、毎月発行の「園だより」でもボランティアや実習生の受け入れ日を周知しています。</li> <li>・園として次世代育成に力を入れていて、高校生、中学生の体験学習、及び保育科を有する大学等からの現場実習を積極的に受け入れています。</li> <li>・実習経験をした人が引き続き、今も保育ボランティアとして来てくれています。ボランティアの感想等を書面で出してもらい、園内研修に反映するなど活かしています。</li> </ul>



## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成担当理事と、人材育成担当保育士を配置しています。</li> <li>・人材育成の計画としては、横浜市が作成した公立保育所用保育士人材育成ビジョンの資料を職員に配布し、共有しています。</li> <li>・職員は、毎年個人研修計画書を提出しています。個人研修計画書には、自己課題や目標、今年度の研修ニーズ、達成できたかどうかの自己評価、反省等の項目があり、活用されています。本人が自己評価して研修報告書に記載したものをもとに、主任が次期研修計画の見直しを図っています。</li> <li>・園内研修は、理事、施設長、主任、職員が参加し、「クラス運営について」「異年齢保育について」「新人職員研修」他の内容で実施しています。</li> <li>・園内研修の一環としてOJTを取り入れ、新人保育士がベテラン保育士に指導を受けるしくみを実践しています。</li> <li>・法人研修は定期的に実施され、非常勤職員にも参加を呼びかけています。</li> <li>・園外研修は、子ども青少年局保育運営課主催の研修や、横浜市南部地域療育センター、全国保育協議会、白峰学園保育センター、区役所等の研修に多数出かけています。研修後は報告書を提出し、職員会議やクラス会議でも報告して職員間で内容を共有しあい、応用・実践へとつないでいます。</li> <li>・非常勤職員の指導は主任が担当し、採用時には園の方針を伝えていきます。また、主任以外の各保育室の担当職員とも日々の業務を通じて、コミュニケーションを図っています。常勤・非常勤職員ともに出勤後、必ず職員用のクラス連絡ノートを読み、共通理解を持って保育にあたるようにしています。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、職員会議やクラス会議でサービスの見直しを図り、スキルの問題として自己評価を行っています。</li> <li>・法人内の保育園間で交流し、互いに良いところを吸収しあい一層のサービス向上を目指しています。</li> <li>・必要に応じて、横浜市南部地域療育センターや、区のケースワーカー等から保育の技術等について指導を受けています。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の職員に可能な限り権限を委譲しています。最終責任者は理事長です。</li> <li>・職員会議やクラス会議で、職員から業務改善の提案や要望を提出してもらうなどの取り組みを行っています。</li> <li>・施設長は、職員が毎年12月に提出する、継続意向書により職員の要望や満足度などを把握して、来年度の計画に反映させています。</li> </ul>

## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の倫理要綱の中に、守るべき法・規範・倫理等が明文化されていて、職員は法人の研修で学んでいます。</li> <li>・経営・運営状況等の情報は、金沢区のホームページに掲載されています。また、職員にも年度末の職員会議で説明しています。</li> <li>・入園のしおりに「地球温暖化防止について」という項目を設け、節電・節水についての園の方針を述べ取り組みを明確にしています。</li> <li>・空箱や廃材などを用意して、子どもたちの自由製作で利用する等、ごみ減量化、リサイクルを行っています。</li> <li>・夏には、ゴーヤやへちまによる緑のカーテンを作って日陰を作ったり、秋には園庭や公園の落ち葉を集めて腐葉土を作って園の菜園に混ぜたりと、環境に配慮した取り組みを行っています。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の規程集の中に「理念の考え方」として理念についての説明があります。</li> <li>・理念・基本方針を明文化し、園のしおりに掲載して職員に配布しています。また、職員会議等で説明し、職員に周知しています。</li> <li>・重要事項の変更や決定等の際には、施設長は保護者と話し合う機会を設け、理事長とも協議の上、方針を決定しています。方針決定にあたっては文書での説明や、懇談会での説明を実施しています。</li> <li>・施設長や主任は、月案や保育活動が、理念に基づいて計画・実施されているか常に確認しています。</li> <li>・主任は個々の職員の業務状況を把握し、良好な状況で勤務できるように努めています。さらに個々の職員の能力や経験にあわせて的確な助言や指導を行っています。</li> <li>・スーパーバイズできる主任クラス職員を、計画的に育成するプログラムは現在のところありません。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人は、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。</li> <li>・運営面での重要な改善課題については、法人の幹部会議・主任会議・看護師会議・栄養士会議で検討し、さらに法人研修で周知するなど、園全体で取り組んでいます。</li> <li>・法人は、中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成しています。また、次代の組織運営に備えた運営やサービスプロセスの新たなしくみ作りについても幹部会議で検討をしています。</li> <li>・外部の経営コンサルタントや都市プランナー等の話を聞き、園運営に活かしています。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2009年11月4日～11月18日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 66.7%（60枚配付、40枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...7人、1歳児クラス...8人、2歳児クラス...5人、3歳児クラス...6人、  
4歳児クラス...7人、5歳児クラス...6人 無回答...1人

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、

「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

### 設問ごとの特徴

#### 【問1】保育園の基本理念や基本方針について

保育園の保育目標・保育方針について「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者は90%です。そのうち約97%の保護者が「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。

#### 【問2】入園時の状況について

「お子さんの様子や生育歴を聞く対応」「園での1日の過ごし方の説明」については90%以上の満足度です。「見学の受け入れ」「入園前の見学や説明など園からの情報提供」「園の目標や方針についての説明」「費用やきまりに関する説明」については80%以上の保護者が満足と答えています。

#### 【問3】年間の計画について

「年間の保育や行事についての説明」については90%の保護者が満足と答えています。「年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているか」について20%の「その他」という回答の中身は、“わからない” “要望を出したことがない” というものです。“保護者に無理のないように考えられていて助かる” という声がある反面、“年に一度の誕生会だけでなくもっと親に向けて園の様子を開示してほしい”という意見もあります。

#### 【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

遊びの項目では、「遊びを通じた友達との関わりや保育士との関係」が100%の満足度、その他の項目も全て90%以上の満足度と高くなっています。

“外遊びが多く、良く工夫されている” “デイサービスのお年寄りとの交流がとても良い” 等と評価する声が多く寄せられています。その他、“体操を復活させてほしい” という声が複数あります。

生活の項目では、「給食の献立内容」「お子さんが給食を楽しんでいるか」「お子さんの体調への気配り」については95%以上、「昼寝や休憩」が約90%、「園でのおむつはずしの取り組み」「けがに関する保護者への説明やその後の対応」については80%以上の保護者が満足と答えています。

けがに関しては、“口頭での伝達だけでなく連絡帳へも書いてほしい” という意見もあります。

#### 【問5】快適さや安全対策などについて

「お子さんが落ち着いて過せる雰囲気」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」については90%以上の満足度と高くなっています。しかし、「施設整備について」は20%、「外部からの不審者侵入」に関しては35%の保護者が不満足と答えています。“3階がコミュニティハウスとなっているため同じ建物に園以外の人が入り出すので心配”という声が多数あります。

#### 【問6】園と保護者との連携・交流について

「園の行事の開催日や時間帯への配慮」についてほぼ100%の満足度、「園の行事や相談事への対応」「園の様子や行事に関する情報提供」「お子さんに関する重要な情報の連絡体制」「残業などで迎えが遅くなることへの対応」についてほぼ90%以上と満足度が高くなっています。しかし、「保護者懇談会や個別面談などの話し合いの機会」について25%の保護者が不満足と答えています。

“丁寧な声かけに感謝しています”という感謝の声がある反面、“保護者同士の交流がほしい”“年に1度は個別面談を”という声があります。

#### 【問7】職員の対応について

「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」については100%の満足度です。「あなたのお子さんが大切にされているか」など他の項目についても全てほぼ90%以上と満足度が高くなっています。

“先生方が仲良く雰囲気がよい”“先生方の対応が柔軟なので助かる”などの声があります。

#### 【問8】保育園を総合的に評価すると

保育園を総合的に評価すると90%の保護者が満足と答えています。

#### 【問9】園への要望など

“とても良い保育園です”“先生方がみな良くして下さい”という感謝の声が多く見られました。

#### まとめ

園の基本理念、基本方針を多くの保護者が理解していて、自由記述欄にも賛同の声が多く見られました。遊びや生活など、子どもたちの園生活については保護者の満足度が大変高くなっています。

“3階にコミュニティハウスが併設されているので心配”という声が複数ありました。安全面を再度確認し、保護者に定期的に周知するなど、不安を解消するための更なる工夫が望まれます。

保護者の負担にならないための園の努力に対して、感謝の声が多く見られました。ただし、個別面談への要望など、園の取り組み(個別面談はいつでも対応していること)が知られていないと思われる回答もありました。お便りをさらに充実させるなど、周知に関する更なる工夫が望まれます。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

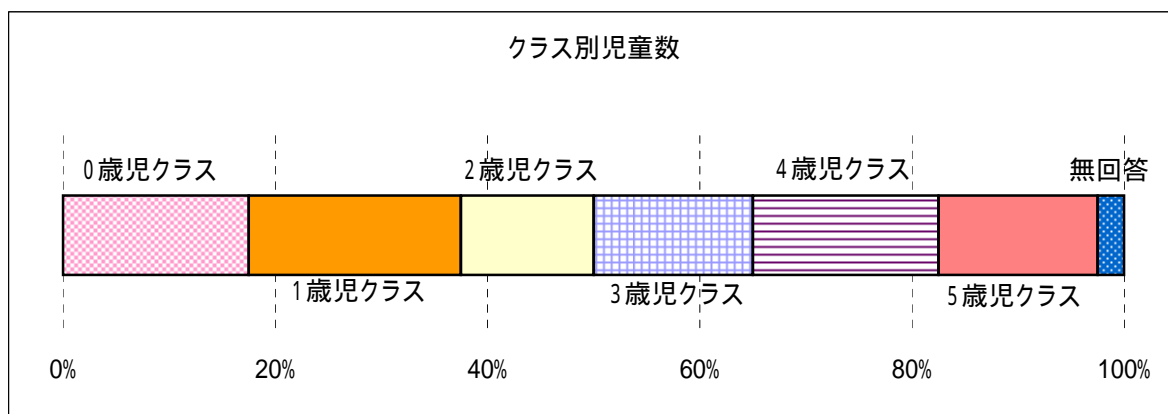
実施期間： 2009年9月28日～10月18日

回収率： 66.7% （回収40枚 / 配布60枚）

### 【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
40	7	8	5	6	7	6	1

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



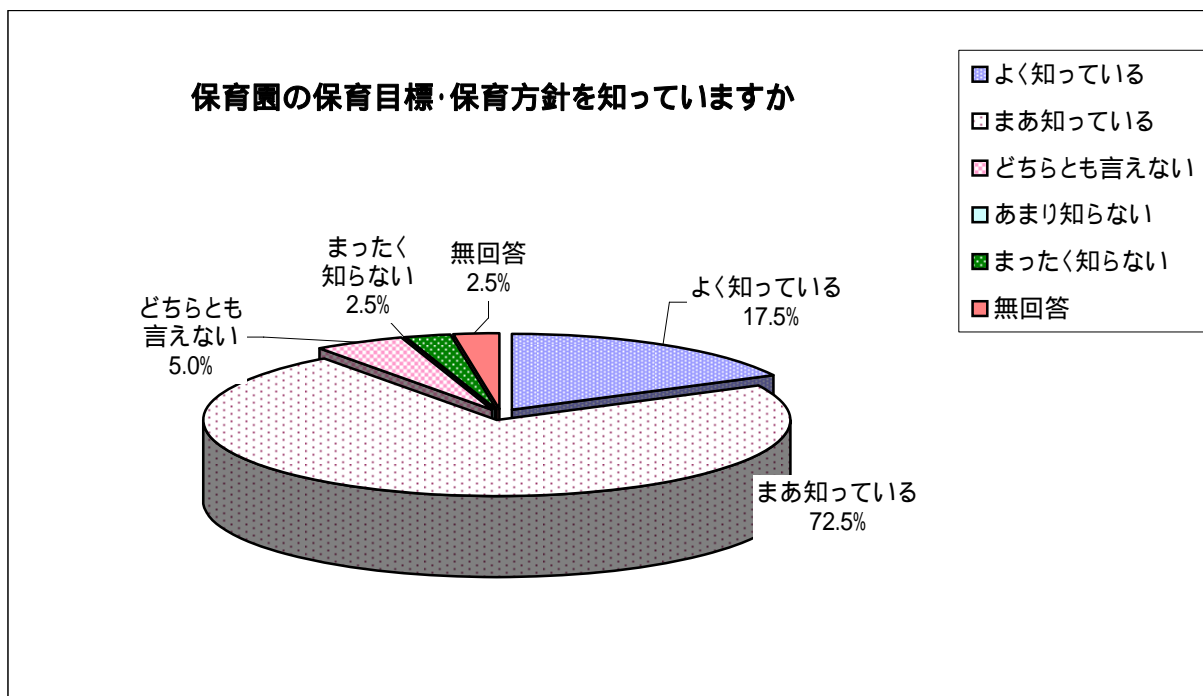
# 保育園の基本理念や基本方針について

## 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	17.5	72.5	5.0	0.0	2.5	2.5	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

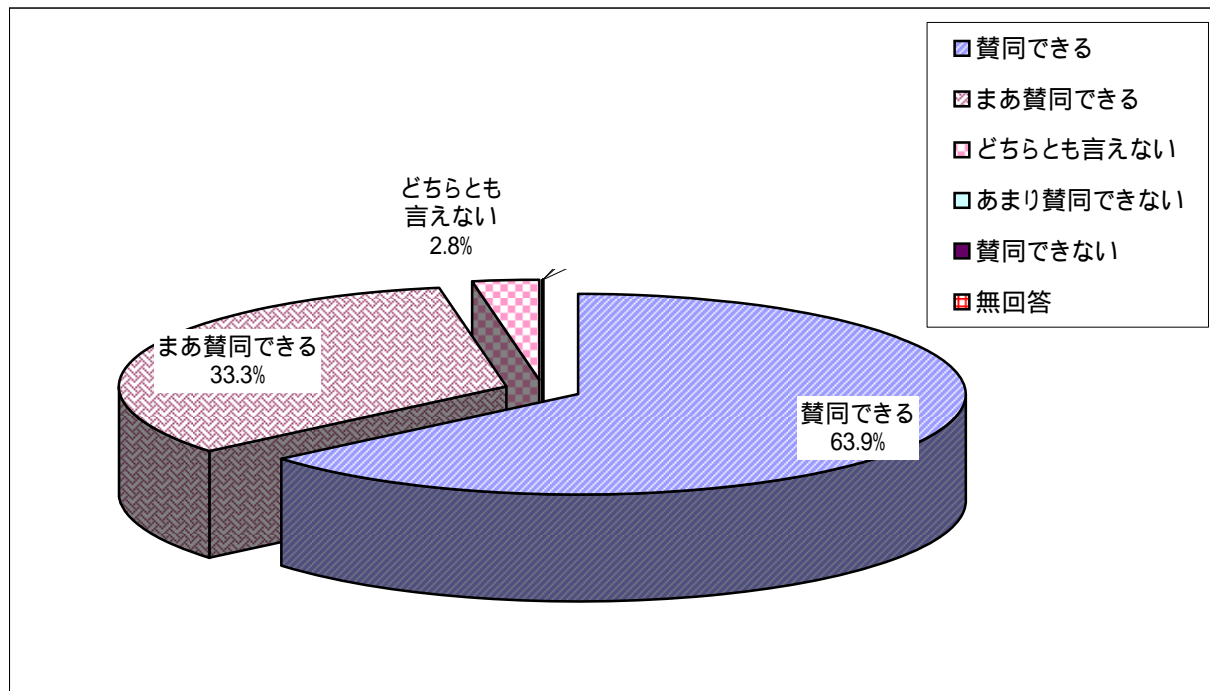


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

## 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	63.9	33.3	2.8	0.0	0.0	0.0	100



# 保育園のサービス内容について

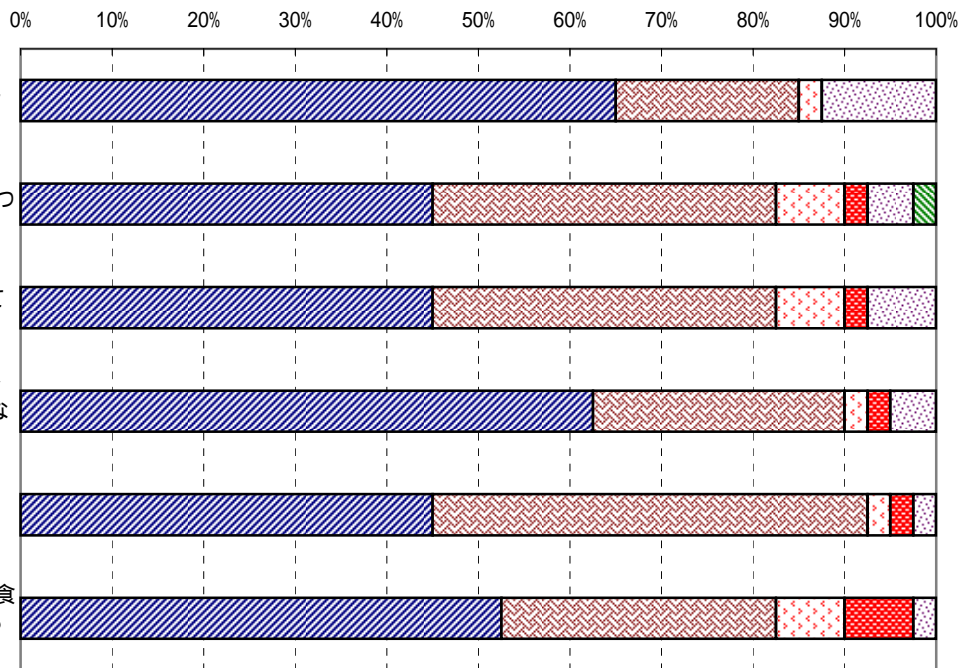
## 問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	65.0	20.0	2.5	0.0	12.5	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	45.0	37.5	7.5	2.5	5.0	2.5	100
園の目標や方針についての説明には	45.0	37.5	7.5	2.5	7.5	0.0	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	62.5	27.5	2.5	2.5	5.0	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	45.0	47.5	2.5	2.5	2.5	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	52.5	30.0	7.5	7.5	2.5	0.0	100

### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



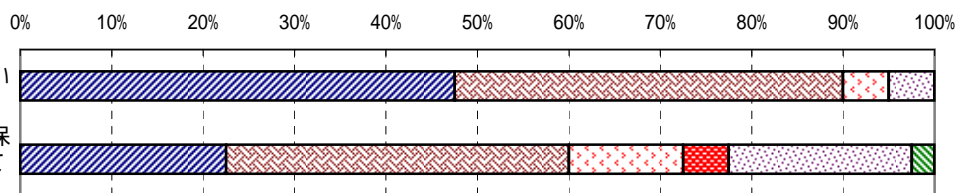
## 問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	47.5	42.5	5.0	0.0	5.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	22.5	37.5	12.5	5.0	20.0	2.5	100

### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



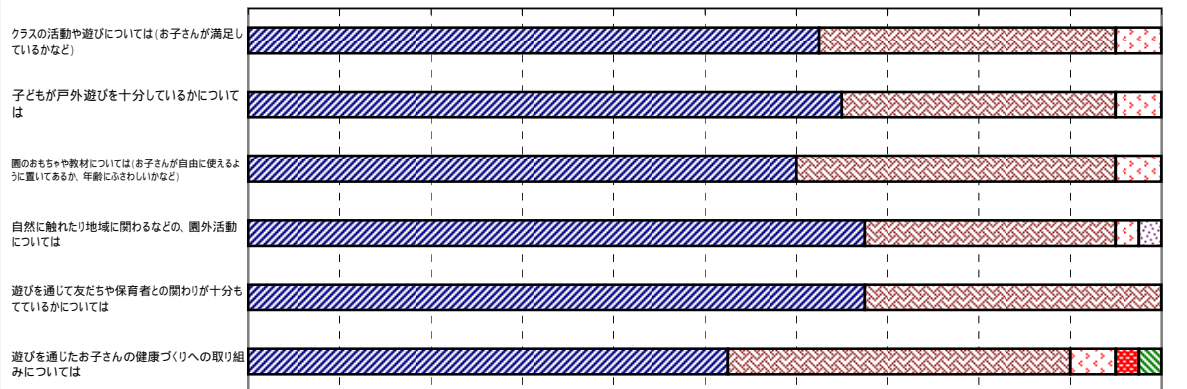
### 問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	62.5	32.5	5.0	0.0	0.0	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	65.0	30.0	5.0	0.0	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	60.0	35.0	5.0	0.0	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	67.5	27.5	2.5	0.0	2.5	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	67.5	32.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	52.5	37.5	5.0	2.5	0.0	2.5	100

#### 日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

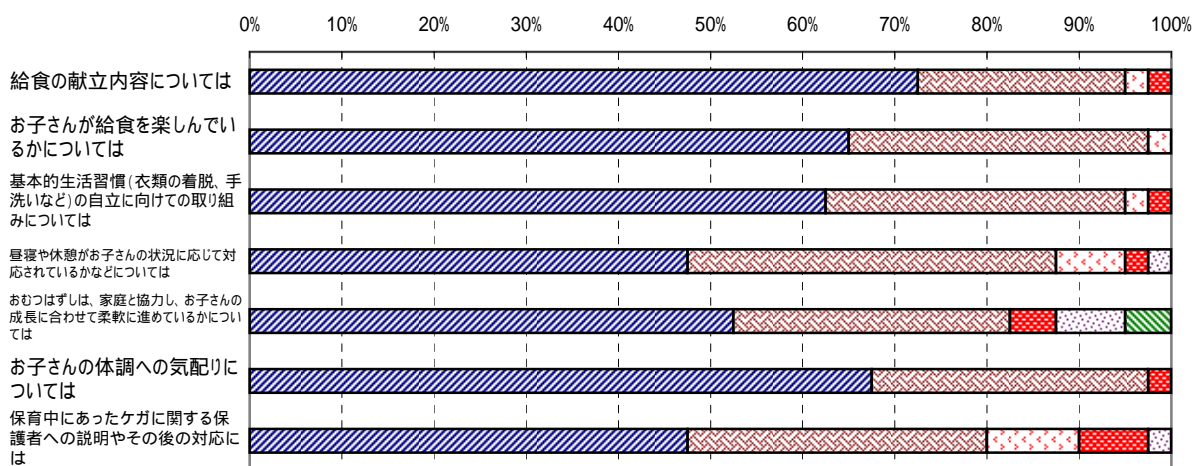


(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	72.5	22.5	2.5	2.5	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	65.0	32.5	2.5	0.0	0.0	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	62.5	32.5	2.5	2.5	0.0	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	47.5	40.0	7.5	2.5	2.5	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	52.5	30.0	0.0	5.0	7.5	5.0	100
お子さんの体調への気配りについては	67.5	30.0	0.0	2.5	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	47.5	32.5	10.0	7.5	2.5	0.0	100

#### 日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答





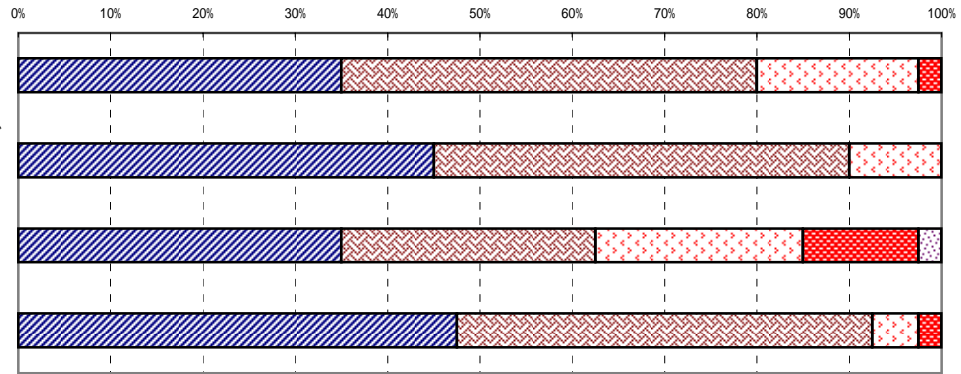
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	35.0	45.0	17.5	2.5	0.0	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	45.0	45.0	10.0	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	35.0	27.5	22.5	12.5	2.5	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	47.5	45.0	5.0	2.5	0.0	0.0	100

#### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



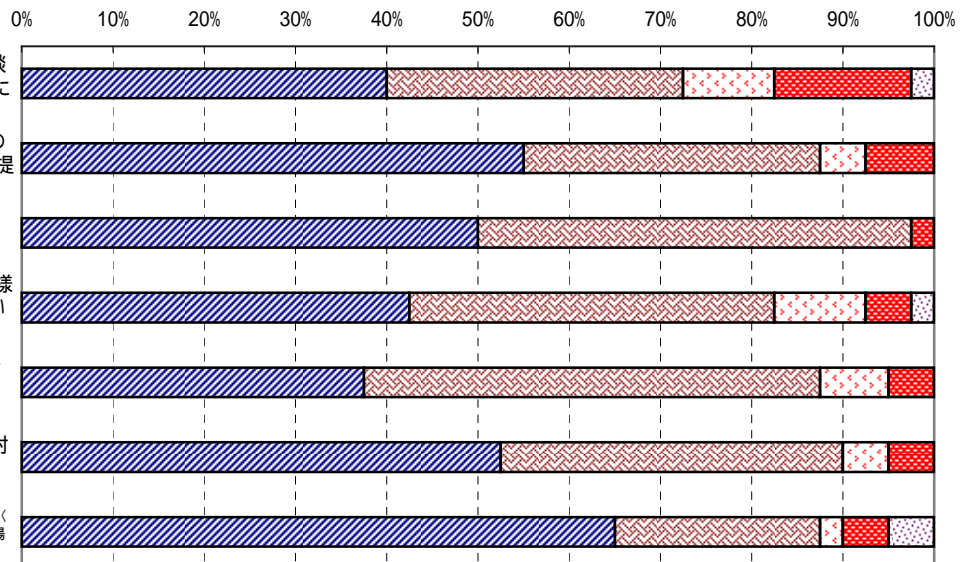
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	40.0	32.5	10.0	15.0	2.5	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	55.0	32.5	5.0	7.5	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	50.0	47.5	0.0	2.5	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	42.5	40.0	10.0	5.0	2.5	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	37.5	50.0	7.5	5.0	0.0	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	52.5	37.5	5.0	5.0	0.0	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	65.0	22.5	2.5	5.0	5.0	0.0	100

#### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



### 問7 職員の対応について

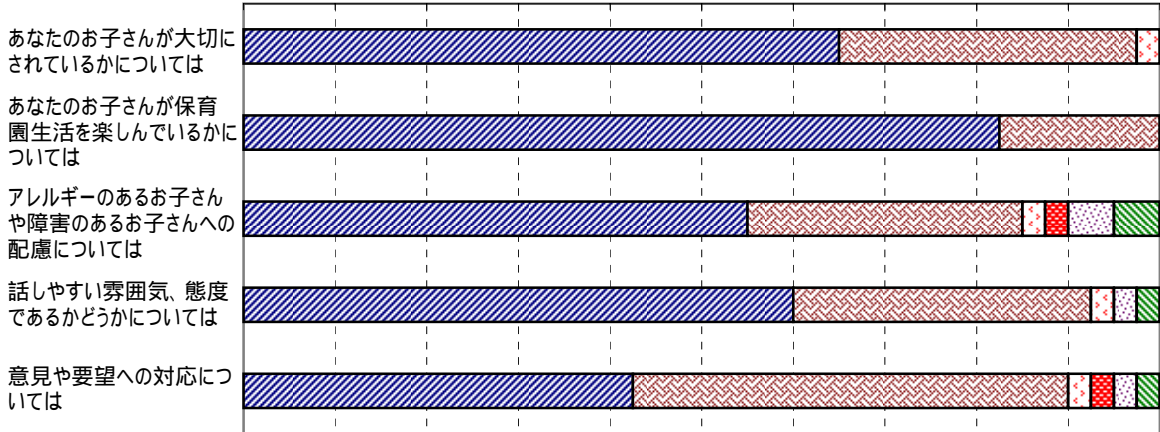
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	65.0	32.5	2.5	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	82.5	17.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	55.0	30.0	2.5	2.5	5.0	5.0	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	60.0	32.5	2.5	0.0	2.5	2.5	100
意見や要望への対応については	42.5	47.5	2.5	2.5	2.5	2.5	100

#### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

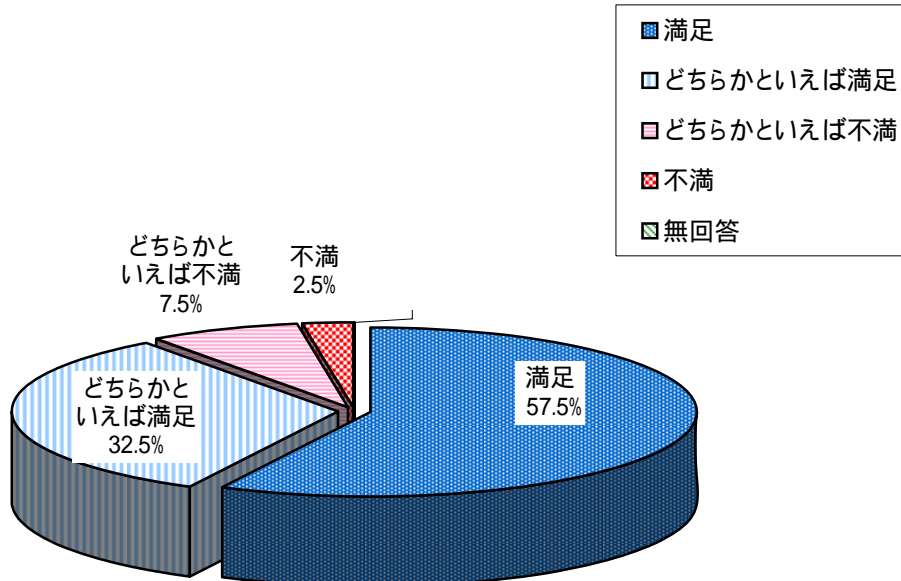
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	57.5	32.5	7.5	2.5	0.0	100



## 利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 2009年12月16日（火）9：00～18：00 12月17日（木）8：30～17：00  
観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### 0・1歳児クラス（ほし組）

保育士の歌が始まると、子どもたちは全員保育士のほうを笑いながら見ます。絵本も皆集中して聞き、絵本の場面に合わせて反応します。「おもちゃのチャチャチャ」「ジングルベル」の歌に合わせてみなで空容器で作ったマラカスをふりました。月齢の高い子どもたちは体全体でゆらしながら、歌っています。

天気の良い観察日2日目は月齢の低い子どもはテラスや園庭で、しっかり歩ける子どもは隣の八景公園へと発達に合わせて分かれて遊びました。手押し車を押ししたりまたがってこいだり、ボールを投げたり追いかけたり、それぞれの発達に合わせて体を動かします。公園では保育士と手をつないで歩き、散歩の練習をしました。保育士はお互いに声をかけあって連携をとりながら、子どもたちの活動を見守り、声をかけて励ましたり、手を貸したりしています。

食事の時は発達に合わせ、月齢の低い子どもから食べます。保育士は「もぐもぐ」「おいしいね」「上手」などと声をかけ、自分で食べようとする意欲を大切にしています。子どもたちは自分で手やスプーンで食べますが、うまく一人で食べられない月齢が低い子どもは保育士に手を貸してもらったり、食べさせてもらったりします。

ほし組は産休明けの5カ月の子どもから1歳後半の子どもたちまで、月齢の幅がありますが、散歩の行く先を変えたり、食事などの時間を少しずらしたりすることによって、発達に合わせて集団を小グループに分け、落ち着いて活動できるようにしています。また、保育室のコーナーを使い子どもの動線を工夫することにより、食事、睡眠、遊びの空間を別々に確保しています。

### 1・2歳児クラス（にじ組）

朝の会では保育士の電子ピアノに合わせて「むすんでひらいて」「まつぼっくり」「せんろはつづくよ」を楽しく皆で歌いました。点呼の時は「はい」と手を挙げて答える子ども、顔を上げるだけの子ども、と色々ですが、皆、名前を呼ばれると保育士とアイコンタクトを取っていて、保育士との信頼関係が感じられます。観察日は「クリスマスの飾りの鈴を作る」「クリスマス会で使う“おおきなかぶ”の劇のお面を作る」「コーナーで遊ぶ」の3つから自由に好きなものを選んで、遊ぶことになりました。

ままごとコーナーでは、保育士が大きなミッキーをお母さんに見立てて、小さなミッキーにミルクをあげるまねをしたり、人形に布団を敷いてあげたりと見本を見せると、子どももその真似をして遊んでいました。線路を部屋いっぱい広げて遊んでいる子どもや、絵本コーナーで絵本を読んでもらっている子どももいます。製作コーナーへは、子ども一人ずつに興味を誘うような声掛けで誘い、みんなが、鈴とお面の両方の製作を体験するようにしています。製作では、できるだけ子どもの好きなように任せて、保育士は子どもが分からない時などは説明したり必要なときに声をかけたり、そばで見守っています。

給食のときは、子どもたちはテーブルごとに呼ばれて、保育士が配膳したお皿を取りに前に行きます。ちゃんと並ばない子どもには保育士がそっと注意します。揃ったテーブルから、「いただきます」をして、食べ始めます。みんなスプーンを上手に使っています。前に出てお代わりをする子どももいます。

保育士は落ち着いて静かな声で子どもたちに話しかけており、子どもたちも保育士の話を集中して聞いていて、信頼関係が感じられます。製作などの活動は一斉に1つのことを行うのではなく、複数のプログラムを用意して子どもの意思を尊重しながら、一人ひとりが興味を引くように働きかけ、子ども全員が自ら活動に取り組めるように支援しています。

### 3・4・5 歳児クラス（たいよう組）

観察日は、ロケット公園、園庭遊び、室内遊びの3つの活動の中から子どもたちが好きなものを選択し、思い思いに遊びました。

園庭遊びのグループは園庭に入ると、遊具を格納箱から自由に取り出して、一斉に遊びはじめました。砂場ではスコップを持って、保育士と一緒に砂山作りをして遊び始めました。また、サッカーが好きな子どもたちはサッカーボールを取りだし、仲良く遊び始め、時間一杯飽きることなくボール遊びに興じていました。そのうち、園庭を走り回ったり、木製の汽車遊具に乗り降りするなど活発に遊び始めたグループに、砂遊びに飽きた子どもたちも加わり遊びました。縄跳びを使い、釣りのまねをしてマグロやサメが釣れた、など楽しんでいました。走り回る子ども同士で、つつき合いのトラブルも見られましたが、保育士の声かけですぐ仲直りをして遊びに戻りました。

ロケット公園のグループは、色々ある遊具の中から子どもたちの話し合いで、今日はターザンロックと多目的滑り台に決め、自由に遊びました。子どもたちは、「面白いね」と言いながら何度も繰り返し遊びました。保育士は、遊具にまだ慣れていない子どもに遊び方を指導しています。始めはできなかった子どもも、保育士の応援を受けて、最後は得意そうに何回も挑戦していました。飽きてくると、保育士の提案でブランコとロケット遊具に移り、また遊びが始まります。

食事のときは、一人ひとりがご飯や味噌汁などを運び、6人の食事配膳が準備できたテーブルから、テーブルごとに食事を取っていました。減らして欲しい場合はそのように言うと保育士が減らしてよそってくれます。みんなおしゃべりをしながら、にぎやかに食べています。

一日の保育の流れは、時計の下に「数字を掲示」することで、次は何時から何をするのが分かり、子どもたちは時計を見て、朝の会から園外活動、給食、昼寝と、自主的に見通しを持って生活していました。

### 5 歳児（らいおん組）

観察日2日目に、5歳児は姉妹園で近くにある聖星保育園のクリスマス礼拝に出かけました。聖星保育園までの20分間あまり、子どもたちは2人ずつ手をつなぎ整列して歩きます。地域の人やお店の人とあいさつをかわし、道を渡るときは左右を確認し手を挙げて渡ります。途中の船や神社、店先の野菜、クレーン車、クリスマスの飾りなど目に留まるもの全てが話題になります。

聖星保育園では、同じ5歳児による生誕劇をしっかりと見学することができました。1時間以上おとなしく座っていたので疲れたのか、帰り道ではもめごともありましたが、保育士が間に入って話を聞き仲立ちしたので、園に帰ってから自分たちで仲直りすることができました。

### まとめ

一日の保育の目標、ねらいなどを保育士は皆良く理解していて、一人ひとりの子どもをよく観察し、何気ない声かけにより、子どもたちが見通しを持って自分から活動できるよう支援しています。

コーナーなど、安心して遊びこめるような環境構成がされていて、保育士は子どもたちの遊びをそばで見守り、遊び方がわからない時は自ら遊びに入ってお手本を示しています。このような環境の中で、子どもたちは乳児から幼児まで自分の好きな遊びを自ら選択し、思い思いに遊びこんでいます。保育士との間に信頼関係ができており、子どもたちは落ち着いて行動しています。

## 事業者コメント

第三者評価の受審は当保育園にとっては2回目ですが、1回目の受審以後、当法人経営の保育園が2か所増え、そちらへの異動等のため受審の意味を知る職員は少数でした。

当保育園の現在の姿をありのままにお見せし、課題を明確にするための受審であることを方針として、職員全員による自己評価のための話し合いを始めました。

予想していたことではありますが、数回の話し合いの途中で、自分(自分の部署、クラス)は出来ているが、他の職員(部署、クラス)は分からない、出来ていなさそうだ、そういう場合はどう評価したらよいかという声が聞こえてきました。

評価項目ひと通りについての話し合いが終了した後に、他の職員(部署、クラス)について分からないということ自体が組織としての課題であることを意識し、自己評価については職員一人ひとり、自分自身が出来ているかいないかで個々に記入し、最終のまとめは個人の足りない点を組織のチームワークで補うという視点で全体の自己評価をすることとして話し合いを再スタートしました。

結果として、今まで当たり前のように行っていた異年齢児保育や統合保育、日々の保育の展開、環境設定等についてクラス内は勿論、クラス・部署を越えて再確認や見直し、意思統一のきっかけとなり、園全体を見るよい機会となりました。

わたしたちにとって特に意味のあることは、評価の結果(他からの指摘)で初めて課題・改善点に気がつくのではなく、かなりの部分を自己評価の過程の中で自分自身で気がつくことが出来たことでした。地域との交流不足はまだアイデア止まりですが、受審期間中でも即実践に踏み切れたことがたくさんありました。

保護者の皆様からのアンケートについては当初から、そこから学ぶものが非常に大きいと考えていました。アンケートに多数ご協力いただき、また過大とも思える評価をいただき、本当に感謝しております。

わたしたちの思い込みや双方の遠慮等で実施していなかった、例えば日にちを定めた個人面談や保護者交流等の中にはすでに計画したものもあり、またわたしたちの意図をよくご説明し、工夫も考えています。

他の点についても更に分析し、保護者の皆様の思いを受け止めた上で話し合いを重ね、改善を進めていきます。今後も独自のアンケートを行うことがあると思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、評価調査員の方々は目に見える現状だけではなく、わたしたちが大切にしていること、やろうとしていることをヒアリング等を通じて汲み取ろうとしてくださり、わたしたちと一緒に保育の質の向上をめざしていることが感じられ、励まされました。

ありがとうございました。

横浜市金沢八景保育園

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見ることができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

---

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価・改善事業ユニット

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL : 045-222-6501

FAX : 045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>

---